

ALL STARs

事業賠償・費用総合保険

サイバーリスクの補償

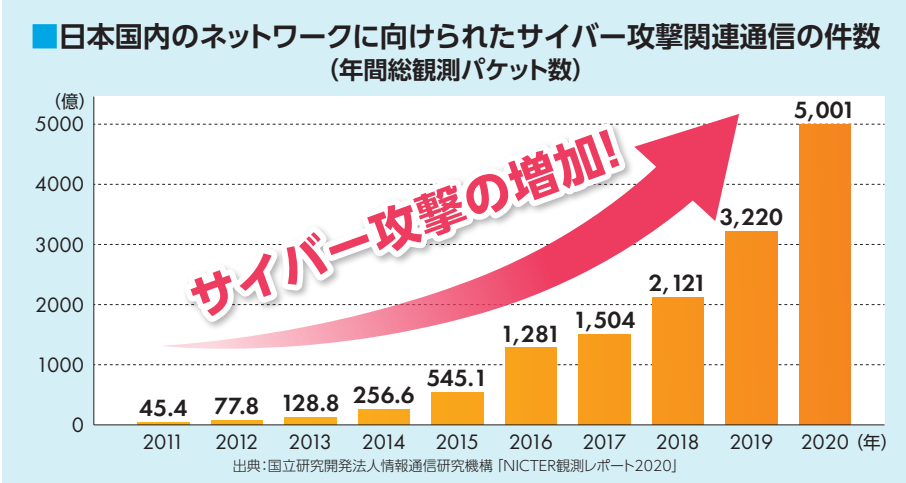
個人情報漏洩補償特約 サイバー攻撃対応費用補償特約 / セキュリティ賠償責任補償特約 / 企業情報漏洩賠償責任補償特約

急速なデジタル社会への転換期 サイバーリスクへの備えは万全ですか？



今このときも個人情報や企業の技術に関する情報が狙われています！

サイバー攻撃は中小企業にはあまり関係がないと捉えられがちです。しかし、**中小企業の個人情報や技術に関する情報が狙われています。**また、**取引先のネットワークに侵入するための踏み台として狙われる**こともあります。



■ サイバー攻撃の被害を受けたことがありますか？

中小企業の5社に1社が被害を経験

サイバー攻撃の被害を受けたことがあるという中小企業の経営者は825人中155人。サイバーリスクは身近なリスクといえます。

出典：一般社団法人 日本損害保険協会 [中小企業の経営者のサイバーリスク意識調査2019]

もしも、サイバー攻撃を受け、 個人情報情報を漏洩してしまったら…

銀行借入か手元資金 それとも…

個人情報情報を1件でも漏洩させると企業は事故対応を迫られます。対応を誤ると、企業のイメージの低下や取引先からの取引停止などにもつながりかねません。

<h2>費用</h2> <p>サイバー攻撃を受け、個人情報10,000件を漏洩してしまった場合の想定損害額は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ デジタル・フォレンジック費用： PC1台100万円×3台、サーバ1台300万円、 その他100万円= 700万円 ▶ 被害者対応など 専門家コンサルティング費用：100万円 ▶ コールセンター委託費用：200万円 ▶ 謝罪広告費用：60万円 <small>(注1)</small> ▶ お詫び状作成・送付にかかる費用：100万円 <p style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">合計 1,160万円</p> <p><small>(注1) 地方紙1紙に掲載した場合の想定費用を60万円としています。 (弊社調べ)</small></p>	<h2>賠償</h2> <ul style="list-style-type: none"> ・ 損害賠償金 ・ 弁護士費用など争訟費用 <p>過去の判例から一人当たり5,000円程度の賠償金が予想されます。万一、10,000人のうち20%の2,000人から損害賠償請求を受ければ1,000万円になります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>▶ 損害賠償金 1,000万円</p> <p>▶ 弁護士費用 510万円</p> <p style="text-align: right; font-size: 24px; font-weight: bold;">合計 1,510万円</p> </div> <p>他にも下記のようなリスクが表面化した場合、 想定損害額（賠償責任額）が増加することもあります。</p> <table border="1" style="width: 100%; font-size: 12px;"> <tr> <td style="width: 25%;"> 個人情報を受託することによる 求償リスク 委託元である取引先から受託した個人情報情報を漏洩してしまった場合、直接被害者対応をするのは取引先となります。取引先が負担した被害者への損害賠償金や事故対応の費用について賠償請求（求償）されることがあります。 </td> <td style="width: 25%;"> セキュリティ賠償責任リスク 一般的にセキュリティが比較的甘いと言われる中小企業が踏み台とされるリスクが高まっています。 </td> <td style="width: 25%;"> クレジットカード番号漏洩の賠償責任リスク EC取引全盛のいま、クレジットカード番号が狙われています。 </td> <td style="width: 25%;"> 企業情報漏洩の賠償責任リスク 個人情報だけでなく企業秘密など企業情報の漏洩リスクにも注意が必要です。 </td> </tr> </table>	個人情報を受託することによる 求償リスク 委託元である取引先から受託した個人情報情報を漏洩してしまった場合、直接被害者対応をするのは取引先となります。取引先が負担した被害者への損害賠償金や事故対応の費用について賠償請求（求償）されることがあります。	セキュリティ賠償責任リスク 一般的にセキュリティが比較的甘いと言われる中小企業が踏み台とされるリスクが高まっています。	クレジットカード番号漏洩の賠償責任リスク EC取引全盛のいま、クレジットカード番号が狙われています。	企業情報漏洩の賠償責任リスク 個人情報だけでなく企業秘密など企業情報の漏洩リスクにも注意が必要です。
個人情報を受託することによる 求償リスク 委託元である取引先から受託した個人情報情報を漏洩してしまった場合、直接被害者対応をするのは取引先となります。取引先が負担した被害者への損害賠償金や事故対応の費用について賠償請求（求償）されることがあります。	セキュリティ賠償責任リスク 一般的にセキュリティが比較的甘いと言われる中小企業が踏み台とされるリスクが高まっています。	クレジットカード番号漏洩の賠償責任リスク EC取引全盛のいま、クレジットカード番号が狙われています。	企業情報漏洩の賠償責任リスク 個人情報だけでなく企業秘密など企業情報の漏洩リスクにも注意が必要です。		

総額（費用 + 賠償） 2,670万円 ▶ 具体的な解決策をご確認ください

上記は弊社調べによる想定損害額であり、実際の損害額は個別の事案により異なります。

サイバー攻撃を受け、個人情報情報が漏洩した場合の補償イメージ

サイバー攻撃を受けた段階で必要とされるデジタル・フォレンジック費用の補償から始まる4つのステップでトータルに企業をサポートします！



- このチラシは保険商品の概要をご説明したものです。詳細につきましては、パンフレット等をご覧いただくか、取扱代理店・扱者または弊社にお問い合わせください。
- また、ご契約に際しては、保険商品についての重要な情報を記載した重要事項説明書（「契約概要」「注意喚起情報」等）を、事前に必ずご覧ください。
- 弊社の損害保険募集人は、保険契約締結の代理権を有しています。

AIG損害保険株式会社

〒105-8602 東京都港区虎ノ門4-3-20
03-6848-8500
午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）
<https://www.aig.co.jp/sonpo>

お問い合わせ・お申し込みは